

# Parallels® Image Tool

ユーザー ガイド

ISBN: N/A  
Parallels  
13755 Sunrise Valley Drive  
Suite 325  
Herndon, VA 20171  
USA  
Tel: +1 (703) 815 5670  
Fax: +1 (703) 815 5675

Copyright © 1999-2008 by Parallels. All rights reserved.

著作権保有者による書面による事前の許可なしに、いかなる形式によっても本書もしくはその派生物を配布することを一切禁じます。

Virtuozzo、Plesk、HSPcomplete、およびそれらのロゴは Parallels の商標です。

Virtuozzo は特許を取得済みの仮想化テクノロジーであり、アメリカ合衆国の特許番号 7,099,948、7,076,633、6,961,868 によって保護されます。アメリカ合衆国において特許出願中です。

Plesk および HSPcomplete は特許を取得済みのホスティングテクノロジーであり、アメリカ合衆国の特許番号 7,099,948、7,076,633 によって保護されます。アメリカ合衆国において特許出願中です。

Intel、Pentium、および Celeron は Intel Corporation の登録商標です。

IBM DB2 は International Business Machines Corp. の登録商標です。

MegaRAID は American Megatrends, Inc. の登録商標です。

PowerEdge は Dell Computer Corporation の商標です。

## 目次

<b>イントロダクション</b>	<b>4</b>
Parallels Server Image Tool について.....	4
このガイドについて.....	4
このガイドの構成.....	5
表記規則.....	5
ヘルプ一覧.....	6
ご意見の送付先.....	6
<b>スタートアップ</b>	<b>7</b>
システム要件.....	7
Parallels Image Tool のインストール.....	8
Parallels Image Tool の起動.....	8
Parallels Server Image Tool のアンインストール.....	8
<b>Parallels Image Tool の使用</b>	<b>9</b>
仮想ハード ディスクの容量の増加.....	9
仮想ハード ディスクのプロパティの管理.....	11
仮想ハード ディスクのフォーマットの変更.....	13
<b>追加した領域の使用</b>	<b>15</b>
Windows での新しいパーティションの作成.....	15
Linux での新しいパーティションの作成.....	16
既存のパーティションの拡張.....	18
<b>仮想ハード ディスクの種類</b>	<b>19</b>
<b>用語集</b>	<b>20</b>
<b>索引</b>	<b>24</b>

---

## 第 1 章

# イントロダクション

仮想マシンは、実際はハード ディスク イメージ ファイルである仮想ハード ディスクを使用します。仮想マシンを使用するうちに、仮想マシンのハード ディスクが自分のニーズに合わなくなり、容量の拡大や種類およびプロパティの変更が必要になることがあります。Parallels は、仮想ハード ディスクの容量の拡大とプロパティの管理のための特別なユーティリティとして Parallels Server Image Tool を開発しました。

この章の構成

Parallels Server Image Tool について .....	4
このガイドについて .....	4
ヘルプ一覧 .....	6
ご意見の送付先 .....	6

---

## Parallels Server Image Tool について

Parallels Server Image Tool は、仮想ハード ディスクの容量の拡大、種類およびフォーマットの変更、または仮想ハード ディスクを使用する仮想マシンのスナップショットのマージができる特別なユーティリティです。このユーティリティは、Parallels Desktop パッケージの一部であり、Parallels Desktop のインストール中に自動的にインストールされます。

---

## このガイドについて

このガイドは、容量の拡大、種類の変更、仮想マシンが使用するハード ディスクのスナップショットのマージに Parallels Server Image Tool を使用するユーザーを対象としています。

## このガイドの構成

このガイドは、次の要素で構成されています。

- 「イントロダクション 『p. 4』」の章では、製品およびこのガイドについての基本的な情報について説明します。
- 「システム要件」の章では、製品のインストールと操作を正常に行うためにコンピュータが満たす必要があるシステム要件について説明します。
- 「スタートアップ 『p. 7』」の章では、Parallels Server Image Tool のインストールおよびアンインストールの方法について説明します。
- 「Parallels Server Image Tool の操作」の章では、仮想マシンをスタートせずにその内容にアクセスしたり変更したりするために Parallels Server Image Tool を使用する際のガイドラインを説明します。
- 「追加した領域の使用 『p. 15』」の章では、Windows および Linux オペレーティング システムで新しいパーティションを作成する方法について説明します。
- 「仮想ハード ディスクの種類 『p. 19』」の章では、Parallels 仮想マシンで使用される仮想ハード ディスクの種類についての基本的な情報について説明します。

## 表記規則

当ガイドをご使用いただく前に、文書内の表記上の規則をご理解くださいますようお願い致します。当ガイドで使用されている特別な用語については、巻末の用語集をご参照ください。

以下の表は現在のフォント規則です。

表記	意味	例
黒い三角形 (▶)	順を追った手順。 記載の指示に従うと、特定のタスクを完了できます	<b>コンテナを作成するには以下を実行してください。</b>
特殊太字	メニュー オプション、コマンドボタン、リスト内の項目など、ユーザが選択する必要のある項目。	<b>[リソース]</b> タブを開きます。
斜体	章、セクション、サブセクションのタイトル。	<b>「基本管理」</b> の章をご覧ください。
固定幅フォント	初出用語または実際の名前や値に置き換えられるコマンドラインのプレースホルダーの指定など、重要な箇所を強調するために使用されます。	これが <i>EZ</i> テンプレート と呼ばれているものです。 コンテナを破棄するには、 <code>vzctl destroy ctid</code> と入力してください。
固定幅フォント	コマンド、ファイル、ディレクトリの名前。	コンテナを開始するには <code>vzctl start</code> を使用します。

書式設定済みフォント	ユーザコマンドラインセッションでの画面上のコンピュータ出力、すなわち、XML や C++ やその他のプログラミング言語。	Saved parameters for Container 101
固定幅太字	入力した文字をコンピュータ画面上の出力と区別	# rpm -V virtuoizzo-release
アルファベット大文字	キーボード上のキーの名前。	SHIFT、CTRL、ALT
KEY+KEY	ユーザがあるキーを押しながら他のキーを押す必要がある組み合わせ。	CTRL+P、ALT+F4

フォント規則以外に、Parallels 資料に適用されている文書の構成規則についてもご承知おきください。すべてのガイドの章はセクションに分かれており、それがさらにサブセクションに分かれています。例えば「**当ガイドについて**」はセクションであり、「**表記規則**」はサブセクションです。

---

## ヘルプ一覧

Parallels Image Tool では、必要な情報に複数の方法でアクセスできます。

- 『Parallels Image Tool ユーザー ガイド』。このドキュメントには、製品とその使用方法、およびトラブルシューティングについての詳しい情報が含まれています。このガイドの PDF 版は、Parallels Desktop の [ヘルプ] メニューにある [Parallels Desktop のヘルプ] の最初のページから参照できます。
- [ヘルプ] ボタン。Image Tool ウィンドウの下部の  [ヘルプ] ボタンをクリックして、対応するヘルプ ページを開きます。
- Parallels Web サイト『<http://www.parallels.com>』。サポート Web ページには、製品のヘルプ ファイルや FAQ セクションが用意されています。

---

## ご意見の送付先

当ガイドの表記ミスを見つけた場合や、当ガイドをより良いものにするアイデアがある方は、弊社までご連絡いただければ幸いです。

コメントの送信には、Parallels フォーラム『<http://forum.swsoft.com/forumdisplay.php?s=&forumid=239>』をご利用いただけます。

メールによるコメントの送信は、[sales@parallels.co.jp](mailto:sales@parallels.co.jp) までお願い致します。コメント送信の際には、章、セクション、サブセクション名や該当部分の文章を提示して問題を特定しやすいようにしていただきますようお願い致します。

---

## 第 2 章

# スタートアップ

この章では、Parallels Server Image Tool のインストールおよびアンインストールの方法について説明します。

この章の構成

システム要件.....	7
Parallels Image Tool のインストール .....	8
Parallels Image Tool の起動 .....	8
Parallels Server Image Tool のアンインストール .....	8

---

## システム要件

Parallels Image Tool は Parallels Desktop パッケージの一部であり、インストールおよび使用のシステム要件は Parallels Desktop と同じです。

### ハードウェア要件

- Intel プロセッサ (1.66 GHz 以上) を搭載した Macintosh コンピュータ。64 ビットのオペレーティング システムを仮想マシンで実行するには、Intel Core 2 以降のプロセッサが必要です。
- 最低 1 GB のメモリ (2 GB を推奨)。

---

**注意:** Mac は、Mac OS X と Mac のアプリケーションを実行するための十分なメモリに加え、仮想マシンのオペレーティング システムとその仮想マシンにインストールされるアプリケーションを実行するために必要なメモリを搭載している必要があります。

---

- Parallels Desktop のインストール用ブート ボリュームで約 300 MB のディスク空き領域。
- 各仮想マシンに約 15 GB のディスク空き領域。

#### ソフトウェア要件

- Mac OS X Leopard v10.5.2 以降
- Mac OS X Tiger v10.4.11 以降

Mac OS X のバージョン番号を確認するには、メニュー バーの [Apple] > [この Mac について] を選択します。

---

## Parallels Image Tool のインストール

Image Tool は、Parallels Desktop のインストール中に自動的にインストールされます。インストール手順の詳細については、『*Parallels Desktop ユーザー ガイド*』を参照してください。

デフォルトでは、Parallels Image Tool は次のフォルダにインストールされます：  
/Applications/Parallels

---

## Parallels Image Tool の起動

Parallels Image Tool ユーティリティを起動するには、次の操作を実行します。

- 1 Finder で、[Applications] > [Parallels] に移動します。
- 2 [Parallels] フォルダで、[Parallels Image Tool] アイコンをダブルクリックします。

---

## Parallels Server Image Tool のアンインストール

Parallels Server Image Tool は、Parallels Desktop をアンインストールすると自動的にアンインストールされます。

## 第 3 章

# Parallels Image Tool の使用

Parallels Image Tool を使用すると、実行中の仮想マシンによって使用されていない既存の仮想ハード ディスク イメージの容量を増やしたり、プロパティまたはフォーマットを変更できます。仮想ハード ディスクの種類およびフォーマットの詳細については、「[仮想ハード ディスクの種類](#) [p. 19]」を参照してください。

この章の構成

仮想ハード ディスクの容量の増加.....	9
仮想ハード ディスクのプロパティの管理.....	11
仮想ハード ディスクのフォーマットの変更.....	13

---

## 仮想ハード ディスクの容量の増加

仮想マシンのハード ディスクの容量が自分のニーズに合わなくなった場合は、Parallels Image Tool を使用して容量を増やすことができます。

**警告:** 仮想ハード ディスクに Parallels Tools をインストールしている場合は、それを削除してからディスクを処理してください。

仮想ハード ディスクの容量を増やすには、次の操作を実行します。

- 1 Parallels Image Tool を起動します。
- 2 [ソース仮想ディスク] ウィンドウで、仮想ハード ディスクのソース イメージ ファイルを指定します。パスおよびファイル名を入力するか、[選択] ボタンを使用してファイルを選択します。

---

**注意:** スナップショットを持つ仮想マシンによって使用されているハード ディスクを選択すると、最新のスナップショットを除くすべてのスナップショットが削除されます。

---

- 3 [処理の選択] ウィンドウで、[ディスク容量を増やす] オプションを選択します。
- 4 ディスクの新しい容量を指定します。デフォルトでオンになっている [未割り当ての領域を最後のボリュームに追加する] チェック ボックスは、最後のボリュームにディスク領域が追加されることを意味します。このチェック ボックスをオフにすると、追加された領域は未割り当ての領域として表示されます。領域を使用するには、その領域を割り当てておく必要があります。追加された領域を割り当てる方法については、『Parallels Image Tool ユーザー ガイド』の「追加した領域の使用」を参照してください。

ディスク容量を増やす処理を開始するには、[スタート] をクリックします。処理の進行状況は、[ディスクを処理しています] ウィンドウで確認できます。[キャンセル] をクリックすると、処理が中止されます。



注意: 指定した仮想ハード ディスク イメージ ファイルが古いフォーマットである場合は、自動的に新しいフォーマットに変換されます。

- 5 ディスク イメージが正常に変更されると、[実行が完了しました] ウィンドウが表示されます。Parallels Image Tool を閉じるには、[完了] をクリックします。

---

## 仮想ハード ディスクのプロパティの管理

Parallels Image Tool では、仮想マシン ハード ディスクのプロパティを管理できます。仮想ハード ディスクの種類を容量固定から拡張可能に、またはその逆に変更したり、ディスクの一部を分割またはマージしたり、仮想ハード ディスクを使用する仮想マシンのスナップショットをマージしたりできます。

**警告:** 仮想ハード ディスクに Parallels Tools をインストールしている場合は、それを削除してからディスクを処理してください。

仮想ハード ディスクの種類を変更するには、次の操作を実行します。

- 1 Parallels Image Tool を起動します。
- 2 [ソース仮想ディスク イメージ ファイル] ウィンドウで、仮想ハード ディスクのソース イメージ ファイルを指定します。パスおよびファイル名を入力するか、[選択] ボタンを使用してファイルを選択します。
- 3 [処理の選択] ウィンドウで、[ディスク プロパティを管理する] オプションを選択します。
- 4 [操作の選択] ウィンドウで、ディスクで実行する操作を次の中から 1 つ以上選択し、[スタート] をクリックします。

---

**注意:** 仮想ハード ディスクの操作は元に戻すことができません。

- 指定した仮想ハード ディスク イメージが拡張可能仮想ハード ディスクの場合は、[仮想ハード ディスク イメージ ファイルを分割] オプションがデフォルトで選択されます。
- 拡張可能ディスクでは、[容量固定フォーマットに変換] オプションを選択できません。
- 容量固定ディスクの場合は、[拡張可能フォーマットに変換] オプションがデフォルトで選択されます。
- 選択したハード ディスク イメージにスナップショットがある場合は、[スナップショットをマージ] オプションがデフォルトで選択されます。このオプションをオフにすることはできません。

---

**注意:** マージ処理は、最後のスナップショット以外のすべてのスナップショットを削除します。

---

Parallels Image Tool は、処理を実行する前に、現在の仮想ハード ディスクのすべてのスナップショットをマージする必要があります。すべてのスナップショットの情報は最後のスナップショットにマージされ、その他すべてのスナップショットは削除されます。Parallels Image Tool はスナップショット マネージャのスナップショット ツリーを変更しませんが、ツリーのいずれかのスナップショットに戻ろうとしてもアクセスできないので、手動で削除します。



**注意:** 指定した仮想ハード ディスク イメージ ファイルが古いフォーマットである場合は、自動的に新しいフォーマットに変換されます。

処理の進行状況は、[ファイル処理中] ウィンドウで確認できます。[キャンセル] をクリックすると、処理が中止されます。

- 5 ディスク イメージが正常に変更されると、[実行が完了しました] ウィンドウが表示されます。Parallels Image Tool を閉じるには、[完了] をクリックします。

---

## 仮想ハード ディスクのフォーマットの変更

旧バージョンの Parallels Desktop で仮想マシンを使用する場合は、Parallels Image Tool を使用して、ハード ディスク イメージ ファイルを古いフォーマットに変換します。Image Tool は、Parallels Desktop 2.5 で作成された仮想ハード ディスク イメージ ファイルを、Parallels Desktop 4.0 でサポートされている新しいフォーマットに変換する場合にも使用できます。

**警告:** 仮想ハード ディスクに Parallels Tools をインストールしている場合は、それを削除してからディスクを処理してください。

仮想ハード ディスク イメージ ファイルのフォーマットを変更するには、次の操作を実行します。

- 1 Parallels Image Tool を起動します。
- 2 [ソース仮想ディスク イメージ ファイル] ウィンドウで、仮想ハード ディスクのソース イメージ ファイルを指定します。パスおよびファイル名を入力するか、[選択] ボタンを使用してファイルを選択します。

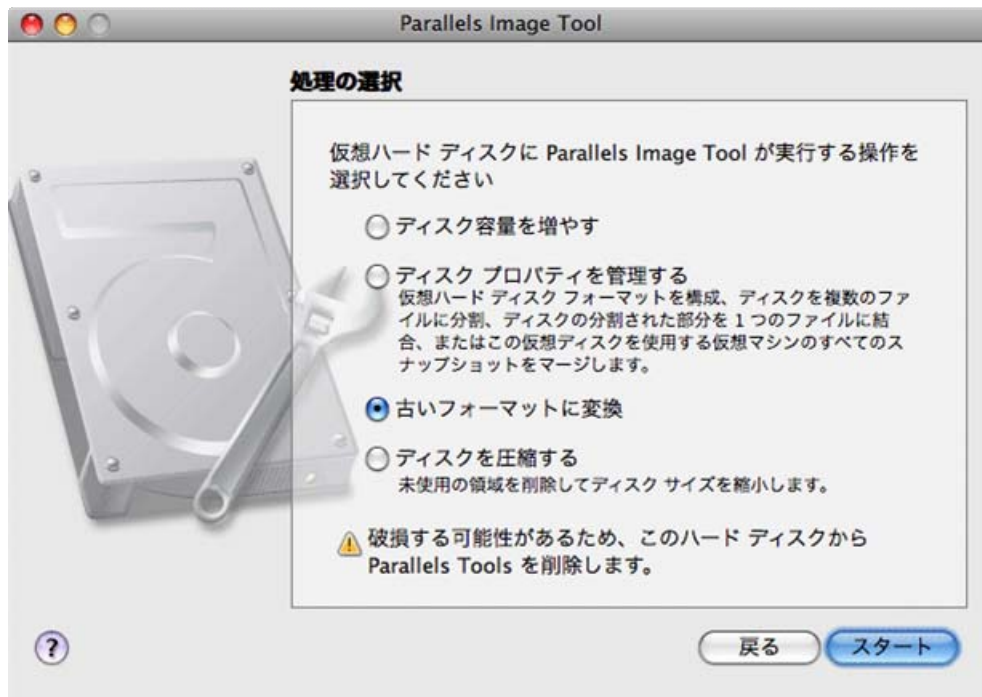
---

**注意:** スナップショットを持つ仮想マシンによって使用されているハード ディスクを選択すると、最新のスナップショットを除くすべてのスナップショットが削除されます。

---

- 3 [処理の選択] ウィンドウで、次のオプションを選択します。
  - **仮想ハード ディスク ファイルを古いフォーマットに変換:** ハード ディスク イメージ ファイルが Parallels Desktop 4.0 または 3.0 フォーマットの場合に選択して、[スタート] をクリックします。この場合、ハード ディスクは Parallels Desktop 2.5 フォーマットに変換されます。この仮想マシンを Parallels Desktop 3.0 で使用する場合、ハード ディスク イメージ ファイルを Parallels Desktop 3.0 フォーマットに変換するよう指示されます。
  - **仮想ハード ディスク ファイルを新しいフォーマットに変換:** ハード ディスク イメージ ファイルが Parallels Desktop 2.5 フォーマットの場合に選択して、[スタート] をクリックします。この場合、ハード ディスクは Parallels Desktop 4.0 フォーマットに変換されます。

**注意:** ディスクを古いフォーマットに変換する場合は、インストールされているゲスト OS の再構成が必要になることがあります。このためには、ディスクにインストールされているゲスト OS のインストール メディアが必要になります。メディアをコンピュータの CD/DVD-ROM ドライブに挿入するか、使用するインストール メディアを [詳細オプション] 領域で選択します。準備が完了した後、[スタート] をクリックします。



処理の進行状況は、[ファイル処理中] ウィンドウで確認できます。[キャンセル] をクリックすると、処理が中止されます。

- 4 ディスク イメージが正常に変更されると、[実行が完了しました] ウィンドウが表示されます。Parallels Image Tool を閉じるには、[完了] をクリックします。

## 第 4 章

# 追加した領域の使用

仮想ハード ディスクの容量を増やすと、追加した領域が、未割り当て領域として仮想マシンに表示されます。この追加した未割り当て領域を使用するには、この領域に新しいパーティションを作成するか、既存のパーティションを拡張します。パーティションの割り当て方法は、Windows および Linux ゲスト オペレーティング システムで異なります。

この章では、Windows および Linux ゲスト オペレーティング システムで新しいパーティションを作成する一般的なガイドラインを示します。

この章の構成

Windows での新しいパーティションの作成.....	15
Linux での新しいパーティションの作成.....	16
既存のパーティションの拡張.....	18

---

## Windows での新しいパーティションの作成

仮想ハード ディスクの未割り当て領域に新しいパーティションを作成するには、ハード ディスクをパーティション化するための Windows の組み込みユーティリティである "ディスクの管理" を使用できます。以下の手順は、追加した領域を Windows XP でパーティション化する手順です。他の Windows オペレーティング システムでの手順も非常によく似ています。

Windows XP で新しいパーティションを作成するには

- 1 拡張した仮想ディスクを使用する仮想マシンをスタートします。
- 2 ディスクの管理ユーティリティを起動するには、[スタート] メニューから [コントロール パネル] を選択します。[管理ツール] をダブルクリックし、[コンピュータの管理] を開きます。[記憶域] セクションで [ディスクの管理] を選択します。

または

[スタート] メニューの [ファイル名を指定して実行] を選択し、次のように入力します。

`diskmgmt.msc`

[OK] をクリックします。

- 3 [ディスクの管理] ウィンドウで、[未割り当て] を右クリックし、ショートカットメニューから [新しいパーティション] を選択します。
- 4 新しいパーティション ウィザードの [新しいパーティション ウィザードの開始] ウィンドウで、[次へ] をクリックします。
- 5 [パーティションの種類を選択] ウィンドウで、[プライマリ パーティション] を選択し、[次へ] をクリックします。
- 6 パーティションのサイズを指定し、[次へ] をクリックします。
- 7 新しいパーティションのドライブ文字を割り当て、[次へ] をクリックします。
- 8 [パーティションのフォーマット] ウィンドウで、[このパーティションを以下の設定でフォーマット] を選択します。 [ファイル システム] を [NTFS] に、また [アロケーション ユニット サイズ] を [既定値] に設定します。 [ボリューム ラベル] フィールドにボリューム名を入力し、[次へ] をクリックします。
- 9 設定を確認し、[完了] をクリックしてフォーマットを開始します。

操作が完了すると、新しいボリュームが [コンピュータの管理] ウィンドウおよび [マイ コンピュータ] に表示されます。

## Linux での新しいパーティションの作成

ほとんどの Linux システムでは、fdisk ユーティリティを使用して、新しいパーティションを作成したり他のディスク管理操作を実行したりできます。

**注意:** Linux で新しいパーティションの作成に必要なコマンドを実行するには、root 権限が必要です。

fdisk はテキスト インターフェイスのツールなので、コマンドを fdisk コマンドラインに入力する必要があります。 次の fdisk コマンドが役立ちます。

オプション	説明
m	利用可能なコマンドを表示します。
p	hda ドライブ上の既存のパーティションを一覧表示します。 パーティション化されていない領域は表示されません。
n	新しいパーティションを作成します。
q	変更を保存しないで fdisk を終了します。
l	パーティションの種類を一覧表示します。
w	変更をパーティション テーブルに書き込みます。

## Linux で新しいパーティションを作成するには

- 1 ターミナルを起動します。
- 2 次のコマンドを使用して `fdisk` を起動します。

```
/sbin/fdisk /dev/hda
```

`/dev/hda` は、パーティション化するハード ドライブです。

- 3 `fdisk` で新しいパーティションを作成するには、次のコマンドを入力します。

```
n
```

- 「**Partition type**」のプロンプトで、プライマリ パーティションを作成する場合は「p」、拡張パーティションを作成する場合は「e」と入力します。プライマリパーティションは 4 つまで作成できます。5 つ以上のパーティションを作成する場合は、4 つ目のパーティションを拡張します。このパーティションが、他の論理パーティションのコンテナになります。
- 「**Number**」のプロンプトでは、ほとんどの場合は「3」と入力します。これは、"一般的な" Linux 仮想マシンには既定で 2 つのパーティションがあるからです。
- 「**Start cylinder**」のプロンプトで、先頭のシリンダ番号を入力するか、Return を押して利用可能な最初のシリンダを使用します。
- 「**Last cylinder**」のプロンプトで、利用可能なすべての領域を割り当てる場合は Return を押します。利用可能なすべての領域を使用しない場合は、シリンダ内の新しいパーティションのサイズを指定します。

既定では、`fdisk` は、**System ID** が 83 のパーティションを作成します。パーティションの **System ID** がわからない場合は、

```
l
```

コマンドを使用して確認します。

- 4 コマンド

```
w
```

を使用して、変更をパーティション テーブルに書き込みます。

- 5 コマンド

```
reboot
```

を入力して、仮想マシンを再起動します。

- 6 再スタートした後、新しいパーティションにファイル システムを作成します。ファイル システムは、他のパーティションと同じにすることをお勧めします。ほとんどの場合、Ext3 ファイル システムまたは ReiserFS ファイル システムのいずれかです。たとえば、Ext3 ファイル システムを作成するには、次のコマンドを入力します。

```
/sbin/mkfs -t ext3 /dev/hda3
```

- 7 新しいパーティションのマウント ポイントとなるディレクトリを作成します。たとえば、ディレクトリの名前を "data" とするには、次のように入力します。

```
mkdir /data
```

- 8 作成したディレクトリに、次のコマンドを使用して新しいパーティションをマウントします。

```
mount /dev/hda3 /data
```

- 9 テキスト エディタを使用して /etc/fstab ファイルを編集し、静的ファイル システム情報を変更します。たとえば、このファイルに次の文字列を追加します。

```
/dev/hda3 /data ext3 defaults 0 0
```

この文字列の「/dev/hda3」は、先に作成したパーティションです。また、「/data」は新しいパーティションのマウント ポイント、「Ext3」は新しいパーティションのファイル タイプです。この文字列内のその他の項目の正確な意味については、mount コマンドおよび fstab コマンドについての Linux のマニュアルを参照してください。

- 10 /etc/fstab ファイルを保存します。

---

## 既存のパーティションの拡張

仮想ハード ディスクに既に存在するパーティションに未割り当て領域を追加したいが、最後のパーティションには追加したくない場合は、ゲスト オペレーティング システムにサード パーティのプログラムをインストールし、それを内部で使用する必要があります。Acronis 製の Partition Expert などのプログラムを使用すると、格納されているデータを失うことなく、ハード ディスク ドライブを簡単に整理できます。

仮想ハード ディスクでパーティションのサイズを変更する方法については、プログラムの技術マニュアルを参照してください。

## 第 5 章

# 仮想ハード ディスクの種類

この章では、Parallels 仮想マシンで使用される仮想ハード ディスクの種類の基本的情報について説明します。

### 拡張可能ディスク

*拡張可能* ディスクは、最初は小さいですが、ゲスト OS でアプリケーションやデータを仮想ハード ディスクに追加するにつれて大きくなります。ディスクの作成時に指定するサイズは、ディスクの最大サイズです。このフォーマットのディスクを使用すると、ホスト コンピュータのハード ディスクの領域を節約できます。

### 容量固定ディスク

*容量固定*仮想ディスクのイメージを保存するファイルは、プライマリ オペレーティング システムに配置され、作成時点からサイズは一定です。*容量固定*ディスクは、カスタム モードで仮想マシンを作成する場合に作成できます。

### 分割ディスク

*容量固定*と*拡張可能*の両方の仮想ハード ディスクは、単一のディスクにも分割ディスクにもできます。既定で、分割ディスクは 2 GB ずつに分けられますが、1 つの HDD ファイルとして格納されます。*分割*ディスクでは、容量が限られるため大きなイメージ ファイルを格納できない USB ドライブまたは他のメディアを使用する部分ごとに、分割ディスクに格納されたデータを転送できます。

### 古いフォーマットのディスク

古いフォーマットのディスクは、他の Parallels 仮想化製品で作成され使用されます。

### 新しいフォーマットのディスク

新しいフォーマットのディスクは、Parallels Desktop で作成され使用されます。

## 第 6 章

# 用語集

この用語集は、Parallels Desktop のドキュメントで使用される用語を定義し、その略語を略さずに記載しています。この用語集の別項で定義されている用語への参照は、斜体で表記されています。

**管理者:** 管理権限を持つユーザーです。

**アクティベーション キー:** Mac 上の Parallels Desktop アプリケーションをアクティベートし、Parallels Desktop の機能を最大限に活用するための、記号の一意の組み合わせです。

**アクティブ オペレーティング システム:** Parallels Transporter Agent が起動されるオペレーティング システムです。

**アクティブ ボリューム:** アクティブ オペレーティング システムのブート ボリュームとして使用される、物理ソース コンピュータのボリュームです。

**起動可能なハード ディスク:** オペレーティング システムの起動に使用するディスクです。通常は、オペレーティング システムがインストールされているディスクです。

**ブート ボリューム:** オペレーティング システムが起動するハード ディスク パーティションです。

**Boot Camp パーティション:** Mac のハード ディスク上のパーティションで、Windows オペレーティング システムのインストールに使用できます。

**ブリッジ ネットワーク:** 仮想マシンのネットワーク接続モードです。仮想マシンを独自の IP アドレスとネットワーク名を持つ別のコンピュータとしてネットワーク上で表示できます。

**構成ファイル:** 仮想マシンのハードウェア構成や仮想マシンが使用するデバイスなどの設定を指定するファイルです。このファイルは、新しい仮想マシンを作成したときに自動的に作成されます。PVS ファイルも参照。

**CPU:** Central Processing Unit (中央演算処理装置) の略語です。コンピュータの内部部品です。プロセッサも参照。

**古いフォーマットのディスク:** Parallels Desktop 2.5 以前のバージョンで作成された仮想マシンのディスクです。

**新しいフォーマットのディスク:** Parallels Desktop 3.0 および 4.0 で作成または使用された仮想マシンのディスクです。

**拡張可能フォーマット:** 仮想ハード ディスクのフォーマットです。拡張可能の仮想ハード ディスク イメージ ファイルは、ホスト コンピュータ上に置かれ、初期サイズは小さく作成されます。このサイズは、*仮想マシン*にアプリケーションやデータを追加することで大きくなります。

**FireWire 接続:** コンピュータ間での高速データ転送を可能にするワイヤード接続です。

**ゲスト オペレーティング システム (ゲスト OS):** 仮想マシンにインストールされるオペレーティング システムです。

**ホスト コンピュータ:** 仮想マシンの実行に使用されるコンピュータです。Parallels Desktop では、お使いの Mac がこれに相当します。Parallels Transporter のドキュメントでは、この用語は*移行の結果をホストするコンピュータ*を指す場合があります。

**ホット キー:** アプリケーションやコマンドにすばやくアクセスするためのユーザー定義のキーまたはキーの組み合わせです。ショートカットも参照。

**HDD ファイル:** *仮想マシン*の作成時には、拡張子が .hdd の仮想ハード ディスク ファイルが必要になります。*仮想ハード ディスク ファイル*も参照。

**ホストオンリ ネットワーク:** 仮想マシンのネットワーク接続モードです。ホスト コンピュータとその仮想マシン間のプライベート ネットワークを作成して、仮想マシンをホスト コンピュータからのみ利用できるようにします。

**ISO イメージ:** CD または DVD ディスクのすべてのコンテンツを含む特別なファイルで、通常はオペレーティング システムのインストールに使用されます。

**イメージ ファイル:** ハード ディスク ドライブ、CD、DVD などのデータ ストレージ用メディアまたはデバイスのすべてのコンテンツと構造を含む単一ファイルです。

**IP アドレス:** コンピュータ ネットワークに属する物理コンピュータまたは仮想マシンに割り当てられている一意のアドレスです。

**Linux コンピュータ:** Linux オペレーティング システムがインストールされている物理コンピュータです。

**マージ済みディスク:** 複数の部分を単一のディスクにマージした*分割ディスク*です。

**移行:** 物理コンピュータまたはサード パーティの仮想マシンから Parallels 仮想マシンまたは仮想ディスクにデータを転送するプロセスです。

**OS:** オペレーティング システムです。

**Parallels Desktop:** Mac で*仮想マシン*を作成、管理、使用するためのアプリケーションです。

**Parallels Explorer:** *仮想マシン*をスタートすることなく、その内容を参照および管理するためのアプリケーションです。

**Parallels Image Tool:** 仮想マシンのハード ディスクの容量やプロパティを管理するためのアプリケーションです。

**Parallels Mounter:** 仮想マシンおよび仮想ハード ディスク ディレクトリの内容を Mac OS X Finder で直接参照するためのアプリケーションです。

**Parallels Tools:** プライマリおよびゲストのオペレーティング システム間の高度な統合を確立する Parallels ユーティリティのセットです。

**容量固定フォーマット:** 仮想ハード ディスクのフォーマットです。容量固定の仮想ハード ディスク イメージ ファイルは、ホスト コンピュータに格納され、そのサイズは固定で変更できません。

**Preboot Execution Environment (PXE):** 利用可能なデータ ストレージ デバイス (ハード ディスクなど) またはインストール済みのオペレーティング システムとは関係なくネットワーク インターフェイスを使用してコンピュータをブートするための環境です。

**プライマリ オペレーティング システム (プライマリ OS):** コンピュータの I/O デバイスを制御するオペレーティング システムで、物理コンピュータの電源がオンになったときにロードされます。これは、Parallels Desktop アプリケーションがインストールされている物理コンピュータのオペレーティング システムです。

**プロセッサ:** 中央演算処理装置、すなわち CPU です。コンピュータの内部部品です。

**PVS ファイル:** 仮想マシンのリソース、デバイス、およびその他の設定についての情報を含む仮想マシン構成ファイルです。

**共有ネットワーク:** 仮想マシンのネットワーク接続モードです。これにより、仮想マシンはホスト コンピュータのネットワーク接続を使用できます。このモードでは、ホスト コンピュータが属するネットワーク上の他のコンピュータからは仮想マシンを参照できません。

**ショートカット:** アプリケーションやコマンドにすばやくアクセスするためのユーザー定義のキーまたはキーの組み合わせです。ホット キーも参照。

**スナップショット:** 特定の時点における仮想マシンの状態のコピーです。スナップショット関連のファイルは、仮想マシンのフォルダ内の特別なサブフォルダに格納されます。

**ソース コンピュータまたはソース オペレーティング システム:** データの移行元のコンピュータです。物理ソース コンピュータには、Parallels Transporter Agent がインストールされている必要があります。

**システム ディスク:** コンピュータがオペレーティング システムをロードするためのフロッピー ディスクです。

**分割ディスク:** 分割ディスクは 2 GB ずつに分けられますが、1 つの *HDD* ファイルとして格納されます。分割ディスクを使用すると、容量が限られるために大きな仮想ハード ディスク イメージ ファイルを格納できない *USB* ドライブなどのメディアを使用して、分割ディスクに格納されたデータを部分ごとに転送できます。

**ターミナル:** Mac OS および GNU/Linux のオペレーティング システムでコマンド ラインにアクセスするためのユーティリティです。

**仮想ハード ディスク (仮想ディスク):** 仮想マシンのハード ディスクをエミュレートするファイルまたはファイル グループです。

**仮想マシン:** Parallels Desktop を使用してエミュレートされるコンピュータです。仮想マシンごとに専用の仮想ハードウェアがあり、そのハードウェアを制御するためのオペレーティング システムが必要になります。インストールされたオペレーティング システムとアプリケーションは、その仮想マシンのみで機能しますが、ホスト コンピュータの物理ハードウェア リソースを共有します。

**サードパーティの仮想マシン:** サードパーティの仮想化製品によって作成された仮想マシンです。この仮想マシンは、Parallels Transporter を使用して Parallels 仮想マシンに変換できます。

**仮想マシン構成:** 物理コンピュータと同様に、仮想マシンにはそれぞれの構成が設定されます。この構成は、仮想マシンの作成中に設定されますが、作成後に変更することもできます。仮想マシン構成の設定は、*PVS* ファイルに格納されます。

**仮想マシン ファイル:** 仮想マシン フォルダに格納されているファイルです。仮想マシンには、少なくとも次の 2 つのファイルがあります: 構成ファイルと仮想ハード ディスク ファイル。

**仮想ハード ディスク ファイル:** 仮想マシンの作成時には、拡張子が *.hdd* の仮想ハード ディスク ファイルが必要になります。このファイルは、実ハード ディスクの機能を実行します。*HDD* ファイルも参照。

**仮想マシン テンプレート:** 複数の仮想マシンに複製できる仮想マシンです。複製された仮想マシンには、仮想マシン テンプレートと同じ構成とデータが適用されます。

**VM:** 仮想マシンを参照。

**Windows コンピュータ:** Windows オペレーティング システムがインストールされている物理コンピュータです。

# 索引

## H

HDD ファイル - 21

## L

### Linux

新しいパーティションの作成 - 17

## P

### Parallels Image Tool

アンインストール - 9

インストール - 9

ハード ディスク プロパティの管理 - 12

ハード ディスクのフォーマットの変更 - 14

ハード ディスク容量の増加 - 10

起動 - 9

使用 - 10

新しいパーティションの作成 - 16, 17

Parallels Image Tool の概要 - 4

## あ

アクティブ オペレーティング システム - 21

アクティブ ボリューム - 21

アクティベーション キー - 21

インストール

Parallels Image Tool - 9

## か

ゲストオペレーティングシステム  
定義 - 21

## さ

サポートされるファイル フォーマットおよびシステム - 20

システム要件 - 8

## た

ドキュメント フィードバック ページ - 7

## は

パーティション

Linux での新規作成 - 17

Windows での新規作成 - 16

既存のパーティションの拡張 - 19

ハード ディスク プロパティの管理 - 12

ハード ディスクのフォーマットの変更 - 14

ハード ディスク容量の増加 - 10

ファイル

HDD ファイル - 21

PVS ファイル - 21

プライマリオペレーティングシステム  
定義 - 21

ブリッジイーサネットネットワーク - 21

ヘルプメニュー - 6

ホストコンピュータ

ソフトウェア要件 - 8

ハードウェア要件 - 8

定義 - 21

ホストネットワーク - 21

ホットキー - 21

## 漢字

仮想ハードディスク

HDD ファイル - 21

ディスクの種類 - 20

ディスクフォーマット - 20

ハード ディスクの分割 - 20

フォーマットの変更 - 14

プロパティの管理 - 12

拡張可能仮想ハードディスク - 20

固定容量仮想ハードディスク - 20

容量の増加 - 10

拡張可能パーティション - 19

管理者 - 21

起動

Parallels Image Tool - 9

起動可能なハード ディスク - 21

共有ネットワーク (NAT) - 21

構成ファイル - 21

削除

    Parallels Image Tool - 9

新しいパーティションの作成

    Linux の場合 - 17

    Windows の場合 - 16

未割り当て領域

    パーティションの作成 - 16

要件

    システム - 8